

2020年度 ⑬併設校連携教育

PLAN(計画)	DO(実施)		CHECK(評価)		ACITON(次への改善)
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。	D:計画を実行しその効果を測定する。	実施状況 (実施率)	C:目標とその実践の差異、実践した行動の評価・分析を行う。		A:課題や問題点についての改善、対策を行い、次への「PLAN」へ繋げる
			評価	評価の理由/課題/根拠データ等	
併設校説明会参加率の向上 併設高校3年生在籍の17-20%入学実績確保	1. 大学認知度の向上 ・保護者(生徒)向け説明会の実施 ・説明会への現役大学生(卒業生)の参加 ・オープンキャンパスで併設校向け特別企画の実施 ・併設高校内での大学紹介コーナーの充実化	100%	併設校説明会参加率の向上が充分図られた。 併設高校3年生在籍の17-20%入学実績確保ができた。	2年生参加者数 昨年44人、全体(158) 今年度 2年生参加99人 昨年比225% 入学実績 40/203=19.7%	今後も出来る限り対面での対応をしていく。 併設校生・高校教員との交流を深め大学の魅力を伝えていく。
高大接続(連携教育)の拡大検討	2. 高大連携教育の推進(教育上の相互交流) 各学部教員・各教務グループとの連携 ・単位認定プログラムの実施 ・併設以外の高校数の増加	80%	コロナ禍であったが、併設校向けオープンキャンパス、保護者説明会、2年生向け大学説明会、単位認定プログラム等対面で実施し成果があった。但し、単位認定プログラムの他の高校とは、コロナ禍であり訪問し交渉も難しかったため高校数は変更がなかった。	併設校向けオープンキャンパス、保護者説明会、2年生向け大学説明会、単位認定プログラム等対面で実施済み	コロナの状況次第で落ち着いたら他高校との関係を深め単位認定プログラムの参加を促していく。
ポートフォリオ利用の主体性評価研究	高等学校ポートフォリオ(調査書対応)研究と進捗確認	30%	検討したもののコロナの影響もあり取り組みが難しかった。	取組の検討のみ	2021年度以降再検討。

2021年度 ⑬併設校連携教育

PLAN(計画)	DO(実施)		CHECK(評価)		ACITON(次への改善)
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。	D:計画を実行しその効果を測定する。	実施状況 (実施率)	C:目標とその実践の差異、実践した行動の評価・分析を行う。		A:課題や問題点についての改善、対策を行い、次への「PLAN」へ繋げる
			評価	評価の理由/課題/根拠データ等	
併設校説明会参加率の向上 併設高校3年生在籍の17-20%入学実績確保	大学認知度の向上 ・保護者(生徒)向け説明会の実施 ・説明会への現役大学生(卒業生)の参加 ・オープンキャンパスで併設校向け特別企画の実施 ・併設高校内での大学紹介コーナーの充実化				
高大接続(相互交流)の拡大検討	高大連携教育の推進(教育上の相互交流) 各学部教員・各教務グループとの連携 ・単位認定プログラムの実施 ・各種相互交流の検討策の実施 ・併設以外の高校数の増加				